

令和元年度 第2回東京都サービス管理責任者等研修検討会 議事録【要旨】

日時 令和元年8月28日（水曜日） 15時から17時まで

会場 東京都心身障害者福祉センター 研修室

出席者 吉川委員、奥秋委員、秋谷委員、宮田委員、三瓶委員、深澤委員、会田委員、橋爪委員、犬飼委員、清水委員、鈴木委員

11名出席（浅野委員、久保委員、相良委員、山本委員4名欠席）

事務局 東京都心身障害者福祉センター地域支援課長森下 他4名

公益財団法人総合健康推進財団職員 3名

1 開会

事務局	<ul style="list-style-type: none"> <li>・資料確認</li> <li>資料1 東京都サービス管理責任者等研修検討会設置要綱</li> <li>資料2 令和元年度サービス管理責任者・児童発達支援管理責任者指導者養成研修プログラム</li> <li>資料3 令和元年度サービス管理責任者・児童発達支援管理責任者指導者養成研修（国研修）受講報告</li> <li>資料4 令和元年度東京都サービス管理責任者等研修検討会 年間活動方針及び計画について（変更案）</li> <li>資料5 令和元年度第2回東京都サービス管理責任者等研修検討会 作業チーム別討議レジュメ</li> <li>参考資料1 令和元年9月～令和2年3月研修カレンダー</li> <li>参考資料2 令和元年度サービス管理責任者・児童発達支援管理責任者基礎研修 教材確認事項</li> <li>参考資料3 研修制度変更に関するまとめ（令和元（2019）年度～）</li> <li>・本日も記録のために録音をするとともに、研修の委託先である公益財団法人総合健康推進財団が参加をする。</li> </ul>
-----	---

2 令和元年度サービス管理責任者等指導者養成研修報告

吉川委員長	<ul style="list-style-type: none"> <li>・本日の議事について確認する。1点目は、6月12日から14日にかけて実施された指導者養成研修の報告。2点目は、チームに分かれて、それぞれの課題について意見交換し、今後のスケジュールと年度末までの検討事項を確認すること。</li> <li>・では、国研修の報告に移る。それぞれ報告をお願いします。</li> </ul>
事務局	<ul style="list-style-type: none"> <li>・厚生労働省主催のサービス管理責任者・児童発達支援管理責任者指導者養成研修は毎年1回実施されている。例年は9月の開催だが、今年は制度改正のため6月の開催となった。事務局と東京都福祉保健局障害者施策推進部からそれぞれ1名、検討会委員から4名、総合健康推進財団から1名が、3日間受講した。</li> <li>・資料2にプログラムが載っている。今年度から更新研修が実施となるため、その内容を実際にワーク、演習を体験する形で伝達するものであった。また、大</li> </ul>

きな制度改正があったので、2日目に自治体職員、指定団体の職員でグループワークという形で、情報の共有を行った。

- ・まず、研修運営について報告をする。この研修制度の改正の主目的は質の維持と向上ということであり、サービス分野別としていた研修を全分野共通とし、基礎・実践・更新の各研修を階層、段階的に位置づけ、実地教育を取り入れたということであった。また、質疑応答の中で、以下のような内容が国から回答としてあった。
- ・基礎研修は、相談支援従事者初任者研修の講義部分とサービス管理責任者・児童発達支援管理責任者基礎研修から構成されるが、修了証書は基本的には別々に出すこと。
- ・経過措置として、平成30年度までにサビ管・児発管の3日間の分野別の研修を修了した人が、今年度相談支援従事者初任者研修を受講した場合は、新たな制度での修了者の扱いになる。
- ・実践研修については、基礎研修修了から2年以上の実務経験（OJT）が必要と示されているが、これは、年月日ベースで丸2年以上ということ。
- ・詳細な実践研修の内容と実施方法は、令和2年度の国研修の中心テーマとして、伝達する予定。
- ・更新研修について、平成30年度までの研修修了者は、令和5年度までの受講に際しては、サビ管・児発管として従事したことがない方でも、1回目の更新研修は受けられる。
- ・令和5年度までは、実務経験がない方でも受講が可能だが、メインターゲットは、サビ管・児発管として経験している人、更新していく人なので、そこはブレないようにすること。
- ・5年間で必ず経過措置の対象者全員を受けさせることについては、定員の関係もあるので、現実として、受講できない人が出てくるのはやむを得ないこと。
- ・専門コース別研修（任意研修）については、今標準プログラムの研究で、制度として位置づけられるのは、もう少し先のような口ぶりであった。
- ・2日目に行ったグループワークでは、他の県の担当者と情報共有ができた。
- ・講師人材の確保をテーマに、他県の話聞いた。分野ごとに代表者を出し、ワーキングチームや連絡会議を設け、人材を推薦する母体というのがある県が、比較的多かった。今後は演習日程も増えるため、規模の大きな県では、悩んでいるとのこと。
- ・ふりかえりテストを実施している県があり、10問中8問正解や10問中6問正解で合格、不合格の場合は再テスト、それでも不合格の場合はレポートとしているとのこと。
- ・替え玉受講対策で、写真入りの身分証明書を持参して、2日目にチェックしている県があった。
- ・その他、災害発生時の対応として、特別警報が出たら延期とし、延期になった日に出席できない場合は、講義の録画を見てレポートを作成という対策をとっている県があった。

	<ul style="list-style-type: none"> <li>・他県では、講師人材の確保はある程度体制ができ上がっているところが多かった。東京都は事業所数が膨大で、かつ、人の入れかわりも激しい事情があるため、東京ならではの工夫が必要と思われる。</li> <li>・今回、基礎・実践・更新と段階的な研修となったので、過去の研修受講歴の確認が、受講決定の際に必要なことになる。これも東京の事情であるが、他県で研修修了している方も多。研修名が県によって異なるため、確認するための研修名の一覧表の作成を国に要望した。</li> <li>・色々なアイデアを共有できて、非常に参考になった。</li> </ul>
事務局	<ul style="list-style-type: none"> <li>・次に実践研修指導者養成チームとして、宮田副委員長より報告をお願いする。</li> </ul>
宮田副委員長	<ul style="list-style-type: none"> <li>・今回、実践研修に関することは全体的に少なかったもので、全体の研修を通して報告する。</li> <li>・基礎研修は、相談支援専門員との連携を重視するとともに、プロセスの理解が重要であると言われていた。相談支援専門員とは連携しにくい実情はあったとしても、目指すべき方向は連携を図ることと伝えること。</li> <li>・実践研修は、支援会議の運営や、サービス提供職員への助言・指導、個別支援計画の質の向上が目的になる研修になるので、「連携」や利用者の「心の糧」を理解して、「内発的な動機」を大切にすることや、「環境調整」、「人材育成」が大事である、とのことだった。</li> <li>・更新研修は、先日東京都が行った更新研修に比べて、かなりシンプルな印象を受けた。自己検証については、事前課題から取組を発表し、意見を出しKJ法のような整理をして、振り返るといってざっくりとした流れだった。受講者に経験があれば、いろんな意見が出て参考になるかもしれないが、そうでないと議論に行き詰まると思われるので、ファシリテーターが重要ということ共有した。</li> <li>・基礎研修については、「プロセスの理解」が重要と言われていたが、先ほども話したように、相談支援専門員との連携も重要で、初任者と経験者の求められることがごっちゃになっていて幅があるように感じた。</li> <li>・更新研修については、「連携」と「人材育成」について強調されていた。連携をすることが当たり前であるとか、意識づけるように言われていたが、個人差やグループ差があり、さらに分野も異なる中で、どのように議論をまとめていくべきかと思った。</li> <li>・ファシリテーターが1グループに1名ついていて、最後に各グループで発表した内容の方向性がグループによって、全く違っていった。1グループに1名ファシリテーターがついているなら、細かな方向性の修正はできるが、都でやる場合、フォーマットをつくって、枠をつけてあげないと、何を求められているのか理解が難しいと思う。</li> <li>・事前課題をみんなが発表して、そこからKJ法みたいな感じで整理していくので、グループの人数が多いと、時間がかかるのではないかと感じた。</li> <li>・スーパービジョンは、ケース会議をする中で、スーパービジョンが行われるというロールプレイを行った。すごく傾聴を重視していて、職員に対するスーパ</li> </ul>

	<p>ービジョンというより、利用者に対する傾聴のようで、そこまですると大変ではないか、傾聴だけではサビ管・児発管としてはだめなのではないかと思った。どういう位置づけで取り組むかを受講者に説明するのが難しいと思った。</p>
事務局	<ul style="list-style-type: none"> <li>・続いて、更新研修については、浅野委員が本日欠席のため資料をもとに、事務局から概要を伝える。</li> <li>・国研修で伝達された「更新研修の目的」③のスーパービジョンについては、都の研修でまだ含まれていないので、今後検討が必要である。</li> <li>・「伝達されたことを都研修と関連づけて考えたこと」の1つ目、事業所としての自己検証については、進め方を明確にしておかないと、グループによっては進行に迷うことがあるかもしれない、タイムキープが細かいので方法を考慮する必要がある、「こうしたい」「できたらいいな」という話で終わらせず、実現するプロセスが話し合われたほうが受講者の納得感を得られるかもしれない、という意見があった。</li> <li>・2つ目、サビ管・児発管としての自己検証については、項目が多いので、話し合いたい項目をグループで決めてもらうと良い、8名で1グループでは時間がかかる、発表は1名1項目くらいが良い、困っていることを出せたほうが嬉しい、解決策よりも他施設での取組を聞いたほうが良い、という意見があった。</li> <li>・3つ目、関係機関との連携については、サビ管・児発管として主体的に関係機関とのマネジメントになると事例を持っている受講者が限定されてしまうのではないかと、相談支援専門員との連携や担当者会議については認識が異なりそう、理想は語りやすいがギャップが起きそう、ソーシャルワーク意識に差が出そう、施設内だけで完結させているケースもあるかもしれないといった意見が出た。</li> <li>・以上、更新研修について、事務局から概要を報告させていただいた。</li> </ul> <ul style="list-style-type: none"> <li>・基礎研修については、橋爪委員がまだ到着しないため、ポイントを事務局より紹介するが、詳細は受講報告書をお読みいただきたい。</li> <li>・「伝達されたことを都研修と関連づけて考えたこと」の1つ目、基礎研修では「プロセス」の理解を強調していたが、強調し過ぎると研修を実施することだけが目的になってしまうのではないかと感じた。都でつくっている現場のリーダーの姿は、そこを補完する貴重な1枚で、何度も確認しながら研修を進めたいと思った。</li> <li>・2つ目は、ロールプレイが非常に複雑だった。基礎研修では、もっとシンプルに、本人とのアセスメントや個別支援計画の本人への説明、真摯に利用者に関わる姿勢を学べるものが良いのではないかと。</li> <li>・3つ目は、分野の統合で不安ばかりが先行していたが、国研修に参加して、児童期への歩み寄りや3障害への理解が進むきっかけになったと感じ、ポジティブに捉えた、とのこと。</li> </ul>
吉川委員長	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ありがとうございます。今の報告を受けて、質問はあるか。(なし)</li> </ul>

## 2 作業チーム別の検討

吉川委員長	<ul style="list-style-type: none"> <li>・議事の2に移る。ここから作業チームごとに検討するが、チームに分かれる前に各研修の進捗状況などについて確認したい。事務局から説明をお願いします。</li> </ul>
事務局	<ul style="list-style-type: none"> <li>・まず、すでに終了している更新研修については、7月22日から8月16日まで全14日程、1,400名での研修を行った。振り返り会でいろんな意見をいただいているので、更新研修チームは、来年に向けての改善、ブラッシュアップを行っていく必要がある。</li> <li>・基礎研修の第1回は、現在募集している。11月11、14、19日で講義を行い、11月下旬から12月にかけて、9日程で演習を行う。第2回は1月に講義、その後演習を1月と2月で実施する。基礎研修チームは、検討中の教材を完成させることが、当面の課題になる。</li> <li>・指導者養成研修チーム兼実践研修チームは、国研修で得た情報を共有していただき、それを踏まえて、今年どうするかを検討をしていただきたい。今年の指導者養成研修の日程は10月23日と、ファシリテーター説明会を兼ねた11月5日、研修後の3月16日振り返りとなっている。</li> </ul>
吉川委員長	<ul style="list-style-type: none"> <li>・続いて、今年度の運営を担当している公益財団法人総合健康推進財団から現在までの実施結果、準備状況について、簡潔に教えていただきたい。</li> </ul>
総合健康推進財団	<ul style="list-style-type: none"> <li>・更新研修の受講者の出席率は97%、非常に真面目に受講していただき情報交換も活発にさせていただいた。演習講師は、延べ112名、実数では50名の方々にご協力をいただいた。8月20日に振り返り会を実施し、来年度に向けて参考になる意見をいただいた。</li> <li>・基礎研修は、8月20日から2週間の募集期間で、締め切りは9月2日となっている。昨日、8月27日の時点で、322名の申し込みがあった。定員900で、まだ伸びてくる予定である。問い合わせでは、実務経験や経過措置に関することが多い。</li> </ul>
吉川委員長	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ここまでで質問はあるか。</li> </ul>
清水副委員長	<ul style="list-style-type: none"> <li>・まだ900名中322名というところなので、どうなるかわからないと思うが、もし900名を超えた場合はどうなるのか。都の集団指導では、もしもに備えて児発管をきちんと増やすようにと言われている。</li> </ul>
事務局	<ul style="list-style-type: none"> <li>・定員を超えるものと思われるが、申込書の中で例えば新規の事業所であれば、開始予定日や退職に伴う人事の交代の時期等、書いてもらっている。また、所管から、新規事業所からの相談の状況や説明会への出席等を確認している。必要な事業所ができるだけ確実に受けられるように、受講決定していきたいと考えている。</li> </ul>
鈴木委員	<ul style="list-style-type: none"> <li>・更新研修は、今後5年間に計画的に受けるということだが、今年はどのくらいの方が受けることができたのか。</li> </ul>
総合健康推進財団	<ul style="list-style-type: none"> <li>・1,530名強の申し込みがあり、1,400名に受講決定通知を出し、修了者は1,362名だった。</li> </ul>

吉川委員長	<ul style="list-style-type: none"> <li>・では、各チームの話し合いの前に各チームで何を扱っていただきたいかを再度確認させていただく。</li> <li>・更新研修チームは、8月20日の振り返りのときに出てきた課題などについて、来年度に向けてどうするかというのを話し合い、決めていただきたい。</li> <li>・基礎研修チームは、現在演習ノートづくりが佳境を迎えている。もう一度、見直した方がいいと思われる点が事務局から整理されているので、その部分を検討していただきたい。11月5日に基礎研修のファシリテーターの説明会があるので、その準備について第3回検討会で検討していただきたい。</li> <li>・指導者養成研修チームは、10月23日に実施の演習指導者養成研修の中身を考えていただきたい。各自がどの資料をつくるのか、外部講師に何を話してほしいのか等々の細かいところまで検討していただきたい。</li> <li>・指導者養成研修チームの検討内容に対して、事務局から変更の提案がある。資料4を参照してほしい。詳しくは事務局からお願いしたい。</li> </ul>
事務局	<ul style="list-style-type: none"> <li>・もともと指導者養成研修チームの方々には、基礎研修の演習マニュアルを執筆していただくことを想定していたが、作業を進めていく中で、別々のほうが取り組みやすいと気づいたため、指導者養成研修チームには、指導者養成研修のカリキュラムの検討と教材作成に取り組んでいただきたいと考えている。</li> </ul>
吉川委員長	<ul style="list-style-type: none"> <li>・事務局の提案について意見はあるか。</li> </ul>
宮田副委員長	<ul style="list-style-type: none"> <li>・いいと思う。</li> </ul>
吉川委員長	<ul style="list-style-type: none"> <li>・では、よろしくをお願いしたい。今日の成果物としては、資料5に検討事項、担当者、いつまでにやるかの書き込み資料がある。時間管理を含めて、各チームの副委員長にお任せする。では検討に入っていただきたい。</li> </ul> <p>(グループ討議)</p>
吉川委員長	<p>(再開)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・それでは、各チームリーダーから、簡単に報告をしていただきたい。更新研修チームからお願いしたい。</li> </ul>
秋谷副会長	<ul style="list-style-type: none"> <li>・事前課題と講義がつながりにくかったため、事前課題を再検討したい。</li> <li>・実践報告で、「自立支援協議会って何？」というような意見があり、今後も協議会を入れていくのであれば、都の行政説明の中で改めて自立支援協議会について触れていただくことが必要と考えた。</li> <li>・「サビ管・児発管としての自己検証」の中で、職員のタイプを知るところについて、まずサビ管・児発管が自分のタイプを知ることを入れてみるのもいいのではと考えた。</li> <li>・「関係機関の連携」では、受講者2名から実践報告をしていただいたが、評判が良かったが、「ちょっと」という方もいたようだ。負担になるとも思うが、今後はファシリテーターをお願いしたい。内容をかちっと決めるよりは、現場のサビ管・児発管の方にいろんな分野をまたいで、現場のお話をさせていただくというのが良いと考えた。</li> </ul>

	<ul style="list-style-type: none"> <li>・本日は委員2名が欠席のため10月の第3回検討会でもう一回今の内容を詰めていきたい。</li> </ul>
吉川委員長	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ありがとうございました。続いて、指導者養成研修チームにお願いしたい。</li> </ul>
宮田副委員長	<ul style="list-style-type: none"> <li>・実践研修については、国研修の演習が出てから話し合ったほうが良いということになり、ここでは10月23日の指導者養成研修1日目の内容を検討した。</li> <li>・基本的には、新しい研修制度や、基礎研修のグループワークの構造、何人くらいのファシリテーターで何グループを見るのか、何を講評するのか等の構造を説明しておく、11月5日のファシリテーター説明会がスムーズに進むのではないかと考えた。</li> <li>・分野をまたいでいるので、基礎研修のファシリテーターとして、どのような基本姿勢でいてもらいたいのかについて、統一しておく必要があると考えた。</li> <li>・最後に基礎研修の演習を一つ取り上げ、演習のようにやってみる中で、そこにファシリテーターとして入って、介入や質問への対応を体験してもらいたいのではないかと考えた。</li> <li>・先日、これまでのファシリテーターにアンケートを行った。それを集約してQ&amp;Aを作成して配付・説明できると良いと考えた。</li> <li>・なお、10月23日の午前中は外部から講師を招き、ファシリテーターの基本を押さえ、その後、基礎研修につながる基本的な知識を共有する時間となれば良いと思う。</li> </ul>
吉川委員長	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ありがとうございました。基礎研修チームの報告をお願いしたい。</li> </ul>
奥秋副委員長	<ul style="list-style-type: none"> <li>・年間の活動計画にある11月5日のファシリテーターの説明会の準備を私たちがやるということについて認識した。説明会の時間割りはこれから作る。基本的には、2日分の日程のところを1日でやることになるが、なるべく体験してもらおうと考えている。</li> <li>・教室進行用のマニュアルをシナリオ形式で書くので、読んでもらえれば通じるような形とする。</li> <li>・個別支援計画の見本があったほうが良いという意見もあり、これから作成する。</li> <li>・実際に今年度やってみてどうだったかという検証は、3月16日の振り返り会の後に引き続いて場所を借りて行いたい。</li> </ul>
吉川委員長	<ul style="list-style-type: none"> <li>・今までのところで質問はあるか。</li> </ul>
犬飼委員	<ul style="list-style-type: none"> <li>・指導者養成研修には、基礎研修チームの誰かが行く必要はあるのか。</li> </ul>
宮田副委員長	<ul style="list-style-type: none"> <li>・当日いらしていただかなくても大丈夫だと思うが、方向性は確認させていただきたい。基礎研修のファシリテーターとしての基本姿勢を9月中に作ることにしている。基礎研修チームにもメーリングリストで共有、確認いただければ当日は大丈夫だと思う。</li> </ul>
犬飼委員	<ul style="list-style-type: none"> <li>・了解した。</li> </ul>
清水委員	<ul style="list-style-type: none"> <li>・指導者養成研修にいらっしゃる受講者は、基礎研修でファシリテーターをやってくださる人たちが良いか。</li> </ul>
事務局	<ul style="list-style-type: none"> <li>・新規のファシリテーターの方たちとなる。</li> </ul>

清水委員	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 20、30名ぐらいは確保できたのか。</li> </ul>
事務局	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ まだこれからである。</li> </ul>
宮田副委員長	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 希望としては60名で、20、30名ぐらいは入ってくれたらと思う。</li> <li>・ たくさん来ていただけると、皆さんの負担が軽くなるので宣伝していただきたい。</li> </ul>
事務局	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 是非、委員からも推薦していただきたい。</li> </ul>
吉川委員長	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ ありがとうございます。他にはいかがか。 (なし)</li> </ul>
吉川委員長	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 次回のそれぞれのチームの方向性等も確認できた。10月の第3回では、よろしくお願ひしたい。</li> <li>・ 議事録の公開について、1点確認したい。本日の配付資料と議事録を公開することになっているが、参考資料として配付された幾つかの資料については、作成中で変更の可能性があるので、参考資料は公開しないとしたいが、いかがか。 (異議なし)</li> </ul>
吉川委員長	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ ありがとうございます。</li> <li>・ 以上で本日の検討会を閉会とする。事務局から事務連絡をお願いしたい。</li> </ul>
事務局	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 今後の予定をお伝えする。第3回は分科会形式で、チームごとの開催となる。</li> <li>・ 更新研修チームは10月7日に当センターでの開催。基礎研修チームと指導者養成研修チームは、10月11日に当センターでの開催。基礎研修と指導者養成研修は最終の作り込みで、いろいろとやりとりも増えていくかと思うが、どうかよろしくお願ひしたい。</li> </ul>
吉川委員長	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ お疲れさまでした。 (閉会)</li> </ul>